

福祉あがの

令和7年7月15日発行

発行：社会福祉法人
阿賀野市社会福祉協議会



いっしょに
あそぼう♪

今月号の写真

子育て親子カフェ 花どけい

未就園児とその保護者を対象に開催している親子カフェでの様子。

取材日は、たなばた&おはなし会で思いの飾りつけをして楽しみました。

すくすく大きくなってね！

令和7年度 阿賀野市社会福祉協議会事業計画・収支予算

事業計画

基本理念

市民の主体的参加と協働により「お互いさま」といえる「共に生き共につくる福祉社会を目指すまちづくり」を推進します。

基本方針

国が進める地域共生社会とは「地域に暮らすすべての人びとがそれぞれに役割を持ちながら、ともに支え合い、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会」とされています。

この地域共生社会の実現には、地域力の強化と包括的な支援体制の整備が不可欠となっています。私たちは、コロナ禍から再び日常を取り戻しつつある地域社会において、住民同士のつながりを回復させながら、以前よりもその関係性を強化できるように取り組んでいきます。

2024年1月に発生した「能登半島地震」や9月の「能登半島豪雨」により、能登地方は甚大な被害を受けました。阿賀野市においても過去の災害等を教訓としながら、引き続き災害ボランティア活動に対する住民への啓発活動をはじめ、役職員を対象にした災害ボランティアセンターの設置運営訓練など、平時から防災・減災に備え体制を整えながら、関係機関とのネットワークの構築をこれからも継続していきます。

お金の使い方や支払い、書類の書き方やお金の管理などで困っている、地域の権利擁護を必要とする方々の支援の充実を引き続き図ります。

通所介護事業では、3事業所において利用者へのサービス向上に努めながら、課題となっている赤字解消に鋭意取り組んでいるところです。

具体には、経費の削減に努める一方で、稼働率の向上を図るため、ケアマネジャーへ適宜アンケート調査を行い、相互の信頼関係を深めながら、利用者サービスの質の向上を目指し、新規利用者を確保していきます。

機能回復においては、リハビリソフトを用いて利用者1人ひとりに適した運動プログラムにより、無理のない機能訓練を行います。団体との連携では、外出レクリエーションやボランティア団体との交流会を定期的に開催し、利用者に笑顔ある楽しさを提供します。

また、利用者とその家族への施設の在り方については、引き続き、信頼と思いやりのもと求められるサービスが提供できるよう努めます。

児童発達支援センターは、発達の気になるお子さん、育てにくさを感じるお子さんやその家族への相談、また、それらのお子さんを預かる施設への援助・助言を行うなど、地域の療育支援の中核的な役割を担います。

現在、職員の育成のため一部事業を休止していますが、職員体制を整え、希望するお子さんに支援ができるように早期に再開を目指します。近隣の市と町を含めたセンターの圏域化については行政と情報を共有し、圏域化の可能性を注視していきます。

重点事項

1. 広く関係機関との連携を図り、生活困窮者への包括的・継続的な支援の強化
2. ボランティア活動の支援と人材育成
3. 災害ボランティア活動の啓発
4. 介護保険サービス、障害福祉サービスの充実
5. 児童発達支援センターの充実
6. 阿賀野市指定管理者制度事業の推進
 - (1) 阿賀野市デイサービスセンター
 - (2) 保健福祉センター「京和荘」(複合型施設)



収支予算

科 目		予 算 (円)	科 目		予 算 (円)
収 入	会費収入	4,013,000	支 出	人件費支出	334,419,000
	寄付金収入	49,000		事業費支出	84,069,000
	経常経費補助金収入	75,832,000		事務費支出	30,304,000
	受託金収入	39,728,000		就労支援事業費支出	4,126,000
	貸付事業収入	500,000		貸付事業支出	500,000
	事業収入	560,000		助成金支出	638,000
	介護保険事業収入	233,778,000		固定資産取得支出	0
	就労支援事業収入	4,126,000		ファイナンス・リース債務の返済支出	686,000
	障害福祉サービス等事業収入	99,203,000		積立資産支出	1,000
	その他の事業収入	88,000		その他の活動による支出	55,910,000
	受取利息配当金収入	12,000			
	その他の収入	258,000			
	その他の活動による収入	41,141,000			
	収 入 合 計	499,288,000			支 出 合 計
			当期資金収支差額	△ 11,365,000	

令和6年度 阿賀野市社会福祉協議会 事業報告

<法人運営事業サービス区分>

- 会務の運営
理事会(5回)、評議員会(4回)、監事会(4回)、訪問監査(4回)、正副会長会議(4回)、の開催
- 福祉関係者の顕彰
阿賀野市社会福祉協議会会長表彰(5名、1団体)
- 役職員の研修
役員研修(0回)、職員研修(12回、23名参加)
自主研修(0回)
- 自主財源の造成
一般会員 8,582世帯(62.7%)
特別会員 5団体/11口・37施設/52口・7法人/8口
賛助会員 121個人/121口
- 行政機関・関係福祉団体との連絡調整
阿賀野市地域福祉計画並びに地域福祉活動計画を踏まえ「共に生き共につくる福祉社会」の実現のため所轄庁、関係機関、団体の主催する各種委員会・協議会等に出席するなど多職種との連携、連絡調整に努めた。
- 外郭団体への支援
阿賀野市老人クラブ連合会・阿賀野市身体障害者福祉協議会・阿賀野市手をつなぐ育成会・阿賀野市連合遺族会の活動支援
- くらしを守る住民活動の推進(虚礼廃止運動推進事業)
無料礼状ハガキの活用(活用者23名、活用枚数273枚)
- 啓発活動の強化
第74回新潟県民福祉大会の参加
社協だより「福祉あがの」の発行、社協広報事業(ホームページ)の実施
- 共同募金活動の強化
実績額 8,255,475円(達成率87.5%)
- 「地域の集いの場」サロン活動の推進
住民が主体となって行う、地域住民が気軽に立ち寄れる居場所の運営支援
- 災害救援活動の支援
新発田青年会議所との災害時相互協力協定の継続
阿賀野市との災害ボランティアセンターの設置、運営に関する協定の継続
阿賀野市ライオンズクラブとの災害ボランティアセンター支援に関する協定の締結

<配食サービス事業サービス区分>

配食サービス事業

(利用者：95名、食数：3,700食 1回平均配食数：安田地区24食、京ヶ瀬2食、水原30食、笹神14食)
おせち料理サービス事業(12/30 71食)

<生活福祉資金サービス区分>

福祉資金

福祉費

(前年度末9件、新規0件、償還完了0件、貸付中9件)

緊急小口資金

(前年度末0件、新規0件、償還完了0件、貸付中0件)

総合支援資金

生活支援費

(前年度末8件、新規0件、償還完了0件、貸付中8件)

一時生活再建費

(前年度末2件、新規0件、償還完了1件、貸付中1件)

離職者支援資金

(前年度末4件、新規0件、償還完了0件、貸付中4件)

教育支援資金

教育支援費

(前年度末8件、申込0件、決定0件、償還完了2件、貸付中6件)

就学支度費

(前年度末3件、申込0件、決定0件、償還完了0件、貸付中3件)

<小口資金貸付事業サービス区分>

前年度末貸付件数5件、新規申込1件、償還完了2件、貸付中4件、償還免除0件

<生活困窮者自立支援事業サービス区分>

相談支援、支援調整会議の開催、内部研修の開催など(相談受付件数103件)

<福祉サービス利用支援事業区分>

日常生活自立支援事業の実施(利用者 7名)

<法人後見事業区分>

法人後見事業の実地(利用者 0名)

<ボランティアセンターサービス区分>

ボランティアセンターの開設

ボランティア活動の支援(登録ボランティア 78グループ 1,434名)

<通所介護事業拠点区分>

デイサービスセンター「むすびの里」(延べ利用者 3,722名)

デイサービスセンター「第二むすびの里」(延べ利用者 8,906名)

デイサービスセンター「第二わかばの里」(延べ利用者 8,292名)

※基準該当障害者福祉サービス生活介護

デイサービスセンター「むすびの里」(延べ利用者 37名)

デイサービスセンター「第二わかばの里」(延べ利用者 45名)

<訪問介護サービス区分>

阿賀野市社協ヘルパーステーション「ぬくもり」(実利用者 677名)

※保険外サービス(利用者 21名)

<障害者居宅介護サービス区分>

自立支援

身体障害者(実利用者 66名)、知的障害者(実利用者

30名)、精神障害者(実利用者 45名)

地域生活支援(実利用者 54名)

<こどものことばとこころの相談室サービス区分>

通所支援(延べ利用者 1,259名)

放課後等デイサービス(延べ利用者 450名)

保育所等訪問支援(延べ利用者 13名)

相談支援(計画相談 185名、モニタリング 482名)

<さくらの会作業所サービス区分>

就労継続支援B型事業の経営(延べ利用者 3,871名)、利用者が個々の能力を伸ばせるよう働く場の提供(自主製品販売活動、外注加工事業、わかばの里掃除、若葉町草刈りなど)

<地域活動支援事業サービス区分>

地域で暮らす障がいのある方の余暇活動を楽しむ憩いの場の提供(延べ利用者 1,724名)

<京和荘サービス区分>

老人福祉センター(延べ利用者 2,447名)

生きがいセンター(延べ利用者 68名)

公民館(延べ利用者 15,494名)

令和6年度 阿賀野市社会福祉協議会財産目録

【財産目録】

令和7年3月31日現在 (単位:円)

資産・負債の内訳	金額
1、資産の部	
流動資産	
現金預金	92,247,546
事業未収金	46,564,222
未収金補助金	0
貯蔵品	37,636
原材料	158,692
立替金	1,340,168
前払金	874,073
仮払金	15,000
流動資産計	141,237,337
固定資産	
基本財産	
建物	2
定期預金	4,000,000
基本財産計	4,000,002
その他の固定資産	
建物	2,755,878
構築物	1
車輛運搬具	2,044,226
器具及び備品	1,137,784
有形リース資産	399,630
長期貸付金	100,000
退職手当積立金預け金	266,711,780
修繕費積立資産	800,000
備品等購入積立資産	500,000
工賃変動積立資金	500,000
設備等整備積立資産	1,000,000
事業運営安定資金積立資産	50,069,134
預託金	131,770
その他の固定資産計	326,150,203
固定資産計	330,150,205
資産合計	471,387,542

資産・負債の内訳	金額
2、負債の部	
流動負債	
事業未払金	26,474,057
1年以内返済リース債務	685,080
未払費用	9,610,943
預り金	491,271
職員預り金	5,324,654
流動負債計	42,586,005
固定負債	
リース債務	970,530
退職給付引当金	325,137,270
固定負債計	326,107,800
負債合計	368,693,805
差引純資産	102,693,737



【貸借対照表】

令和7年3月31日現在 (単位:円)

資産の部				負債の部			
科目	当年度末	前年度末	増減	科目	当年度末	前年度末	増減
401 流動資産	141,237,337	172,750,711	△ 31,513,374	411 流動負債	42,586,005	43,914,070	△ 1,328,065
402 固定資産	330,150,205	332,661,751	△ 2,511,546	412 固定負債	326,107,800	321,684,250	4,423,550
				負債の部合計	368,693,805	365,598,320	3,095,485
				純資産の部			
001 基本財産	4,000,002	4,000,002	0	413 基本金	4,000,000	4,000,000	0
				414 基本	0	0	0
				415 国庫補助金等特別積立金	2,117,727	3,515,789	△ 1,398,062
002 その他の固定資産	326,150,203	328,661,749	△ 2,511,546	416 その他の積立金	55,118,248	55,117,247	1,001
				417 次期繰越活動増減差額	41,457,762	77,181,106	△ 35,723,344
資産の部合計	471,387,542	505,412,462	△ 34,024,920	純資産の部合計	102,693,737	139,814,142	△ 37,120,405
				負債及び純資産の部合計	471,387,542	505,412,462	△ 34,024,920

※阿賀野市社会福祉協議会ホームページをご覧ください。



令和6年度阿賀野市社会福祉協議会 赤い羽根共同募金助成事業報告



阿賀野市社会福祉協議会では、赤い羽根共同募金より令和6年度の地域福祉推進事業費として5,520,787円の助成を受けましたので、その用途についてご報告いたします。

【高齢者福祉活動費 2,571,000円】

- ふれあい昼食会…………… 184,123円
- 配食サービス事業等…………… 2,386,877円



ふれあい昼食会（坂上ぶどう園にて）



配食サービス

【児童・青少年健全育成事業費 90,000円】

- ボランティア体験学習支援事業費… 90,000円



車いす体験学習



高齢者疑似体験学習

【障がい児・者福祉活動費 103,000円】

- 障がい者ふれあい交流会…………… 53,000円



ボッチャ交流会

- 多様性理解の研修会…………… 50,000円

【住民全般福祉活動費 2,756,787円】

- ボランティア活動支援事業…………… 160,000円
- 県民福祉大会研修事業…………… 46,000円
- 社協機関紙発行事業…………… 419,000円
- ボランティア通信発行事業…………… 877,000円
- 行旅人旅費支援事業…………… 7,000円
- サロン活動推進事業…………… 328,000円
- 地域ささえ愛事業…………… 478,000円
- 介護教室開催事業…………… 34,000円
- 災害対策事業…………… 210,000円
- おうちごはんプロジェクト…………… 197,787円



災害対策事業



『ふれあい昼食会』 事業終了のお知らせ

毎年恒例となっていました、赤い羽根共同募金助成事業『ふれあい昼食会』ですが、地域の皆さまからご協力いただき募金が、より幅広い年代や、生活の支援を必要としている方たちに活用できるよう、事業を終了させていただくことになりました。

毎年ご参加されておりました方々へは残念なお知らせにはなりますが、事業の終了につきまして、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

相談窓口のご案内 暮らしサポートセンターあがの

『悩みがあるけど相談する人がいない』『どこに相談したらいいのかわからない』など不安や困りごとを相談員がお伺いし、解決に向けたサポートを行います。

相談は無料です。秘密は固く守られますのでご安心ください。

～相談内容の例～

- 収入が不安定で、生活費のやりくり困っている
- 借金が多くて返済ができずに困っている
- 困っているがどこに相談したらいいかわからない



連絡先

阿賀野市社会福祉協議会 暮らしサポートセンターあがの

電話 67-9500

※受付時間：月～金 8：30～17：30

メール kurasapo-agano@zb.wakwak.com

二次元コード読み取り後メール画面に移動します。▶▶▶



配食サービスのご案内

阿賀野市社会福祉協議会では、75歳以上のひとり暮らしの高齢者の方、または概ね80歳以上の高齢者世帯で、身体機能の低下や疾病などにより自宅での調理が困難な方、地域での見守りが必要な方を対象に、週1回、夕食のお弁当をお届けする「配食サービス」を実施しています。

お弁当は、調理ボランティアによる手作り弁当や業者のお弁当をご用意し、地区の民生委員または配達ボランティアがご自宅までお届けします。

配食サービスのご利用を希望される方は、お住まいの地区の民生委員、または阿賀野市社会福祉協議会までご連絡ください。

対象者

阿賀野市にお住まいの75歳以上のひとり暮らしの方、概ね80歳以上の高齢者世帯の方で、1食あたり300円
身体機能の低下や疾病などにより自宅での調理が困難で、地域での見守りが必要な方

料金

実施日

毎週木曜日(夕食)

※午後2時30分～午後5時の間に、地区の民生委員または配達ボランティアがご自宅までお届けします。

申込み

地区の民生委員 または 阿賀野市社会福祉協議会 (☎0250-67-9203)までご連絡ください。

※お申し込みは随時受け付けております。



日常生活自立支援事業のご紹介 ～安心して暮らせるお手伝いをします～

こんなお困りごとはありませんか？

- ※通帳や、印鑑などの大切なものをどこにしまったかわからなくなる…
- ※書類が送られてくるけど、何が大切なものかわからない…
- ※年金や福祉サービスの手続きのやり方を忘れてしまう…

など、毎日の生活に不安を感じている認知症の高齢者や障がい者の方などが、住み慣れた地域で安心して生活できるようお手伝いをしています。



利用できる方

- ★認知症高齢者、知的障がいのある方、精神障がいのある方など、日常の生活を送る上で、自分ひとりでの判断で行うことに不安がある方。

(阿賀野市社会福祉協議会と契約をしますので、ご本人が契約内容を理解していただけることが必要です)

お手伝いの内容

- ★福祉サービス利用手続きのお手伝い
- ★日常的なお金の出し入れのお手伝い
- ★大切な書類や印鑑などのお預かり

利用料金

- ★契約前：訪問・相談・支援計画作成は無料です。
- ★契約後：1回1時間1,200円+生活支援員の交通費をいただきます。
(1時間を超える場合は、30分ごとに400円)

お問い合わせ先

阿賀野市社会福祉協議会 電話：0250-67-9203



ひとりひとりが福祉のサポーター

令和7年度社協会員(会費)にご協力をお願いします。

阿賀野市社協は、「市民の主体的参加と協働によりお互いさまといえる共に生き共につくる福祉社会を目指すまちづくり」を基本理念として地域福祉活動を推進しています。

活動におけるひとつの財源として、皆さまにご協力をお願いする会費は地域福祉活動を推進する上で貴重な財源であるとともに、市民の皆さまに会費を納めていただくことによって地域の福祉活動に間接的に参加していただくことにもつながります。

ぜひ、社協活動の趣旨にご賛同いただき、会員への加入にご理解とご協力をお願いいたします。

※自治会長様へは、8月1日付の文書にて改めて会費の取りまとめについてお願いする予定です。

※会員に加入することや会費の金額については、決して強制ではなく任意です。

● 社協会員(会費)の種類 ●

一般会員 一世帯 500円	賛助会員(役員・篤志家) 一口 1,000円	特別会員(法人事業所・団体・福祉施設) 一口 3,000円
------------------	---------------------------	----------------------------------

令和6年度社協会費の実績と使い道のお知らせ

会費実績 **4,025,265円**

一般会費	8,582世帯	3,691,265円
賛助会費	121個人	121,000円
特別会費	福祉団体 5団体 福祉施設 7施設 事業所 37事業所	213,000円

主な会費の使い道として

- いきいきサロン推進事業
高齢者や子育て世代の閉じこもりの防止や仲間づくり、生きがいつくりのための活動の支援
- 社会福祉事業功労者表彰式
市内の福祉事業における功労者の表彰
- 地域活動車輛維持費
貸出用マイクロバスの車検代・保険料・整備費等
- 社協機関紙「福祉あがの」発行事業
ホームページ管理運営更新料含む
ホームページアドレス <http://www.agano.net/shakyo/>
- 法人運営費
市社協運営のための人件費以外の事務費と事業費

『ボランティア体験学習支援事業』のご紹介

ボランティアセンターでは『ボランティア体験学習支援事業』を行っています。

令和6年度は、市内の小中学校を対象に、手話・点字体験、視覚障がい者誘導体験、車いす体験、高齢者疑似体験等を行いました。



京ヶ瀬中学校では、車いすと高齢者疑似体験を行い、生徒の皆さんからは、「高齢者の気持ちが少し分かった」「車いすの段差の押し方や注意点が分かった」などといった感想が寄せられました。



この事業は、このような体験を通して、福祉の理解を深め、相手の立場や気持ちに寄り添う心を育くむことを目的としています。

学校以外にも、サロンや自治会などにも訪問を行っていますので、「体験してみたい」というご希望がありましたらいつでもお気軽にご相談ください。

お問い合わせ先

阿賀野市ボランティアセンター 電話：0250-67-9203

多様性理解の研修

令和7年5月24日(土)に多様性理解の研修を開催しました。

講師に新潟市を中心に活動しているNPO法人新潟ねっと代表理事 村山賢氏をお招きして「生きづらさと共に歩む～ひきこもりを理解し、支援するということ」をテーマに、ひきこもり状態にある方、生きづらさを抱える方への理解、支援のあり方について講演いただきました。



ひきこもり状態にある方の心情や状況を理解し、本人の意思を尊重し、自律の力を中心に置きながら、当事者のペースに合わせた伴走型の支援のあり方について学びを深める機会となりました。阿賀野市社会福祉協議会でも「暮らしサポートセンターあがの」でひきこもり状態の方やご家族の相談の受付、参加者が楽しみながら生活に必要なスキルを身につけられることを目的とした「はじめのいっぽ応援講座」を今年度も開催予定です。ご相談ご希望の際は0250-67-9500または kurasapo-agano@zb.wakwak.com までお問い合わせください。

職員募集

ケアセンターぬくもり

臨時職員 若干名

通所介護事業所 (第二わかばの里)

臨時職員 若干名

ヘルパーステーションぬくもり

臨時職員 若干名

勤務地	阿賀野市姥ヶ橋669番地 (京ヶ瀬支所内)	阿賀野市稲荷町11番地10号	阿賀野市若葉町3番地33号
職務内容	主任介護支援専門員 介護支援専門員	介護員	ホームヘルパー
勤務日	カレンダー通り	シフトによる	シフトによる
賃金	189,600円 3年後昇給あり 通勤手当、処遇改善手当支給 社会保険・雇用保険加入 パート希望 要相談	166,500円 3年後昇給あり 通勤手当、処遇改善手当支給 社会保険・雇用保険加入	166,500円 3年後昇給あり 通勤手当、処遇改善手当支給 社会保険・雇用保険加入
備考	満65歳未満	満65歳未満	満65歳未満

詳細についてはお問い合わせください。お電話お待ちしております。

阿賀野市社会福祉協議会 総務課 担当：阿部、神田 TEL：0250-67-9203

第1回

阿賀野市社協職員の つぶやき

阿賀野市社協を
もっと知って
もらいたい!!

阿賀野市社会福祉協議会（社協）を、地域の皆さんからより身近に感じてもらい知ってもらうにはどうしたらいいか…

まずは、職員を知ってもらおう!!という思いから、このコーナーを始めました。

それぞれの業務内容や好きなこと、感じたことなどを少しご紹介して皆さんからより身近に感じてもらいたいと思っています。

初回は、今回の広報誌を担当した地域福祉課 関川です。

普段は、地域福祉課で相談などの業務を担当しています。

家では2羽のうさぎを飼っています。知っている方もいらっしゃるかもしれませんが、うさぎは犬のように鳴いたりしません。ですが、長年一緒にいると表情や行動で何となく伝えていることが分かるようになってきました。

「感じとること」を日頃の仕事にも生かしていきたいと思う今日この頃です。



▲“うさ” と



▲“まる”です

「いつまでも、自分のことは自分でしたい」 利用者みなさんの熱い願いに応えたい!

社協のデイサービスセンターでは、リハビリ専門ソフトを使い、利用者さんおひとりおひとりのリハビリメニューを作って、毎日運動をしています。



誰でも無理なく続けられるように、ボールやペットボトルを用いた簡単な運動が中心なので、利用者みなさんからもこれなら続けられると好評をいただいています。



ちょっと足腰が弱ってきたかなと思ったら、ぜひ、社協のデイサービスセンターを利用し、みなさんと一緒に運動をして“元気”を取り戻しませんか。ご利用お待ちしております。

新規相談窓口 電話 0250-68-5885 (担当:佐藤、長島)

この機関紙は社会福祉協議会会費
並びに赤い羽根共同募金助成金で
発行しています。

発行 〒959-2123 新潟県阿賀野市姥ヶ橋669 (阿賀野市役所京ヶ瀬支所内)

社会福祉法人 阿賀野市社会福祉協議会
TEL 0250-67-9203 FAX 0250-67-9204

福祉あがの、ボランティアグループ「うぐいす会」により音声訳されています。